

平成 26 年産 紀南の梅産地情報

2014/06/09

1. 5月20日の定点調査では、南高の着果数は前年・平年並み、在来系の着果数は前年・平年共に少なかった。

定点調査の着果数（枝径2^{センチ}の枝当たり）と結実率

品 種	平年（10年間）		平成25年		平成26年			
	結実率	着果数	結実率	着果数	結実率	着果数	前年比	平年比
南 高	10.0%	35 果	11.3%	35 果	10.8%	36 果	102%	103%
在来系	10.1%	34 果	15.5%	41 果	15.4%	29 果	69%	84%

2. 6月6日時点の南高の実肥りは、35.5mmと平年に比べ2日程度遅れている。
3. 南高梅は5月30日販売から始まっているが、6月に入り気温が高く推移したため生育が進み、日々の入荷量は多くなっている。
ピークは6月8～13日頃の見込みで、南高の黄熟・完熟期は6月15日以降と予想している。
4. 6月6日梅部会まとめの生産予想量は、小梅 826 トン（昨年比 71%、平年比 87%）、古城 796 トン（昨年比 79%、平年比 85%）、南高 23,544 トン（昨年比 78%、平年比 101%）、在来系 554 トン（昨年比 76%、平年比 82%）を見込んでいる。生産量は今後の気象等により変動することがある。
5. JA 紀南では出荷販売する梅の安全対策として、全ての出荷物の生産履歴記帳と安全点検、生産者毎の出荷物サンプル保管、農薬残留分析（JA 紀南食品安全分析センター）の自主検査による安全確認を実施している。また、食品安全衛生管理のGAPも導入している。
6. 結実後の気象は、5月上旬は平年より低く推移したが、中旬以降は平年を上回っている。降水量は平年・前年より多くなっている。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	平年	24年	25年	26年	平年	24年	25年	26年
5月上旬	18.0	19.4	15.9	17.7	57.0	26.0	25.5	19.5
5月中旬	19.0	17.4	19.5	19.1	72.5	16.0	97.0	139.0
5月下旬	19.9	20.1	21.8	20.5	53.4	5.5	11.5	84.5

南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）